

活動紹介!

音テラス

会館での活動は5年目になりました。現在、小中学生合わせて5名が在籍していて、毎月第1、第3火曜日の午後、主にピアノのレッスンをしています。年に1回、秋に他の教室と合同で、練馬の会場で発表会をしているそうです。

小学校の低学年では、ピアノと並行して、より音楽が好きになり学校の音楽の授業にも積極的になれるようにと、木琴やグロッケンをピアノに合わせるなど、音を楽しむ指導もされています。



11月の催しから

- 3(金) 中辻ピアノ教室発表会
- 4(土) 萩原ピアノ教室発表会
- 5(日) 牧口ピアノ教室発表会
- 7(火)~12(日) 多摩北部5市美術家展
- 11(土) Y・Yダンスクラブ ダンスパーティ
- 12(日) 真田ピアノ教室発表会
- 18(土) 深なつき三姉妹ライブコンサート
- 19(日)
 - ・深谷ピアノ教室発表会
 - ・宮地ミュージカルコース発表会
- 23(木) 辰巳ピアノ教室発表会
- 25(土) 河野ピアノ教室発表会
- 26(日) 日向ダンス教室発表会
- 30(木) 稲門会・成美教育文化会館共催 映画会

これらはあくまでも予定ですので変更もございます。一般の方の参加の可否等、詳細は主催者までお尋ねください。

会館事務室から



今月の話題 — 夕焼け

「秋は夕暮れ。夕日のさして山の端(は)いと近うなりたるに、烏の寝どころへ行くのとて、三つ四つ、二つ三つなど、飛びいそぐさあはれなり。(枕草子)」夕暮れ時が美しい季節となりました。明るさを落としながら、刻々と色合いを変えていく空。たなびく陰影のある白いすじ雲。そこに差し込む朱色、時には金色にも見える光の筋が織りなす眺めは、しばし時を忘れ、見惚れる美しさがあります。きっと清少納言もそうした空を眺めていたのでしょう。

夕焼けは、日が沈む頃は、大気を通る太陽の光路が長くなり、波長の短い青系の光は散乱されて遠くまで届かず、波長の長い赤色光が強調されて起こる現象(屈折現象もあるようです)とされています。実はこの現象、大気中の水蒸気などの粒子が多いほど顕著に現れます。となると、そういう粒子が比較的多い季節は夏なので、理屈から言えば一年で夏が一番夕焼けが赤いということになります。俳句では夕焼けは夏の季語で、夕焼けと言えば夏。確かにそうなのですが、秋と夕焼けのイメージが分かちがたく結びついているのはなぜなのでしょう。秋の夕焼けは、秋の風情の中でしか味わえない独特の美しさがあると感じる方は少なくないと思います。もしかすると、こうした感性は、唱歌「あかとんぼ」「もみじ」や「秋は夕暮れ」の一節が多少なりとも影響しているのかもしれない。

